

# 平等寺だより

発行

☎633-0001  
 桜井市三輪38  
 三輪山平等寺  
 TEL/FAX  
 0744-42-6033  
<http://www.byodoji.org>

## 多武峰心の休憩所 多武峰妙楽寺の再建

住職 丸子孝法

大化の改新発祥の地とされる多武峰の歴史は、藤原鎌足公の遺骸を長子の定慧和尚がここに埋葬したこと

に始まります。ここに十三重の供養塔、金堂、常行三昧堂、鎌足公の尊像を祀る聖霊院が建立され、679年に多武峰妙楽寺が開創されました。

道元禅師生前20年・没後28年生涯を尽くして孝順の心をつくされ、道元禅師の『正法眼蔵』をはじめとする多くの著述をまとめられ、今日に残された功績は誠に甚大であります。

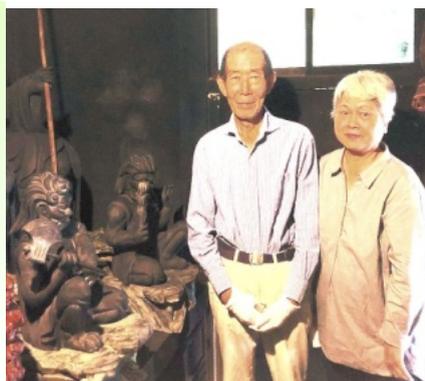
1167年、大本山永平寺開山道元禅師の祖父藤原基房公が妙楽寺三重塔を寄進され、永平寺二代懐奘禅師、三代義介禅師、四代義演禅師が若かりし頃に修行された寺でありました。1234年、懐奘禅師は道元禅師初開の道場、宇治興聖寺の第一の門弟となり、

「托鉢をしてでも廃仏毀釈で廃寺となった平等寺の再興を」という先代師匠の遺言を守り、昭和46年秋より勧進托鉢に取りましたが、その頃から多武峰妙楽寺の一院の再興を心に念じてきました。

平成24年、大本山永平寺副監院就任の折、禅師さまに妙楽寺のことをお話しあげ、「孤雲懷奘禅師故地」と御揮毫をいただきました。4年間の役寮として賜りました本山よりのご浄財により多武峰妙楽寺本坊の跡地500坪余りをおゆずりいただき、全国の説教講演のご浄財を基本として、多武峰、心の休憩所・多武峰妙楽寺の一院を再建することになりました。この頃、腰がまがってまなりませんが、精いっぱい努力精進しようと思えます。有縁の皆さまの心からのご助援をお願いもうしあげます。年頭にあたり、皆さまのご清福とご安寧をご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。 合掌

### 前鬼と後鬼を修復

この度、不動堂にお祀りしています「前鬼」と「後鬼」を奈良の吉田幸夫様のご助援を頂き、中西指定仏像修理所・中西正治先生に修復していただきました。



### 県梅花流奉詠大会に参加

やまぶきホールで心を合わせて奉詠しました。





## 私がオーストラリア で経験した1年 松井彩佳

私は、国からの査証であるワーキングホリデービザを利用して、1年間オーストラリアで過ごしていました。ワーキングホリデーとは、海外旅行とは違い長期滞在を許されたもので、その間就学、旅行、就労と生活することが許されている制度です。それでは、私のワーキング（仕事）とホリデー（休日）のお話をさせていただきます。

### ① 仕事のお話

オーストラリアでの最初の仕事は、夫婦が営むワイン工場。私は、ここであるボランティアサービス利用しました。それは、無給で「労働力」を提供する代わりに「食事・宿泊場所」「知識・経験」を提供してもらおう制度のもの。作業内容は、夫婦が自ら育てているカフェアライム、パッションフルーツという甘酸っぱくて、種も一緒にカリカ

リつと食べるのでできる果物など、日本ではあまり見かけない果物の収穫、洗浄、切って果実を取り出す作業など、全て一つ一つ丁寧な手作業でした。ここで特に大変だったことは、化学について、ワインについての専門用語を英語で理解すること。工作中、分からない単語を質問し、調べ、メモをし、仕事の後は勉強、日記を英語で書き確認してもらっていました。これが私の日課の一つになり、それからあつという間に1ヶ月が経ちました。その後、場所を移動して、冬はみかんの箱詰め、夏にブルーベリーの収穫。これが本当に暑かったです。ブルーベリーの木は高くない為、日陰はありません。カンカン照りの太陽の下、ひたすら親指以外の8本の指先を動かしてブルーベリーを採り、手の平にこんもりと、そして腰にくくりつけているバケツの中へ。1つのバケツに3キロ、これを3つ作ったら、両手に9キロをぶら

下げ、担当の人のもとへ持っていく仕事でした。次に長距離の大移動をして、オーストラリアの友達の家へ。そこでは、さくらんぼの収穫をしました。脚立を木の中心や近くに立て、登り、全てのさくらんぼを採りきる。私の一番のお気に入り

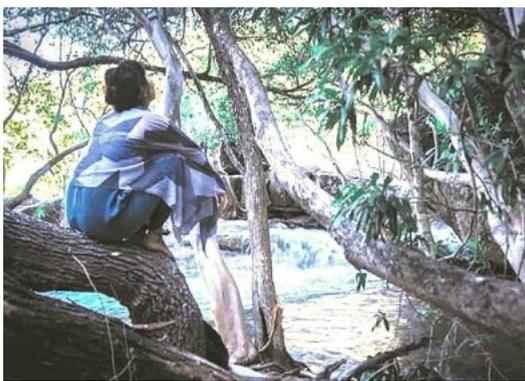


がかなりの重労働。肩から大きなバッグをぶら下げながら脚立に登って収穫、そして10キロ、15キロと重くなっていくバッグ。この作業の繰り返しは徐々に私の足腰にも負担がかかり始めました。しかし、広々と自然や動物が豊かなオーストラリアの中で過ごした時間は、ストレス溜まることなく、心の余裕を持って伸び伸びと私らしくトライすることの出来た素晴らしいものでした。

### ② 日常生活のお話

私が普段過ごしていた場所は、キャンプ場でキャビン（見た目は車、中身は家）やテント。特に私のお気に入りには川の横でのキャンプレ生活です。その際、私達は車内にベッド、キッチンがなかったので、そこで暮らしていました。もちろんトイレもシャワーもありません。なので、シャワーは川へ飛び込む！トイレは穴を掘って！トイレの最中に、野生のコアラに出会うこともありました。魚が食べたい気

分の時は、魚を釣る。夜は毎晩たくさんの木々に包まれながら観られる満点の天の川。そして、ほとんど携帯を利用してこともなく、寝て、起きて、収穫する。家の中の生活はとても便利でしたが、野外で生活をずる時間、自然と共に過ごせるこの時間は、なにより、より自然と近く、頭を軽く、明るく、人間らしくいられる、私にとって贅沢なものでした。このように私が経験した事は、人間らしさを豊かに活発にさせてくれました。これからも、自分の心の豊かさや強さを身に着けていきます。



### 大久野島で学んだ

毒ガス島歴史研究所の山内正之さんは、「高校の社会科教師だったが何十年も間違っていることを教えてきた。私が子どもの頃に大人から聞いていたのは、大久野島では毒ガスを作っていたけれども、その毒ガスは一度も戦争で使用されたことはなかった。誰一人として外国人を殺していない」と話した。事実を違った。」と話した。日本が毒ガスを使用したという事は、1984年まで日本では殆ど知られていなかった。化学戦の実体は慎重に秘匿され、旧軍関係者以外の日本人は殆ど事実を知らなかった。

竹原市忠海の沖合い3kmにある小島、大久野島に『陸軍造兵廠忠海兵器製造所』、いわゆる「毒ガス工場」が開かれたのは1929年のことだった。全島が「毒ガス工場」になり、毒ガス製造が最も盛んになった昭和10年代、大久野島は、

軍の機密により瀬戸内海の地図から消された。戦争が終わった1945

(昭和20)年、大久野島には、3千トンを超える毒ガスが残された。残された毒ガスは、米軍の指揮のもとに四国・土佐沖120kmの海中に捨てられたが、その作業中、毒ガスによる負傷者が数多く出たとされている。

山内さんは大久野島毒ガス障害死没者慰霊碑の前で、「今も毒ガス工場に従事した方が障がいに苦しんでいます。大久野の毒ガス問題は終わってはいません。現在の問題です。」と訴えられた。

佐藤和彦様から長椅子を御寄進いただきました。



7月第二日曜日「作務の日」今年7月12日です



昨年はめずらしく早朝から雨でしたが、ご参加いただきました皆様には感謝申し上げます。「作務の日」は今年から午前8時集合、午前中に終了次第解散といたしますので、宜しくお願い申し上げます。

### 年間行事予定

- 【一月】一〜三日 修正会  
十三日 十三時初護摩会
- 【二月】三日 十時 星祭会  
十五日 六時 涅槃会
- 【三月】二十日 十四時 彼岸会
- 【四月】五日 十時 大護摩会  
花祭り「ちいおねり」募集
- 【七月】上旬 本山研修会  
十二日 八時 作務の日  
下旬 子供坐禅の集い

- 【八月】一日 九時半 最勝会  
二百三十三時 地藏会
- 【九月】二十二日 十四時 彼岸会
- 【十月】下旬 県梅花大会
- 【十二月】一〜八日 朝六時  
撰心会並びに成道会  
上旬 歳末托鉢行  
二十一日 十四時 終護摩会  
三十一日 除夜の鐘

### 月間行事予定

- 一・十五日 六時 祝禱朝課
- 一日 十四時 (行事は別) 梅花講
- 二十四日 十四時 水子供養
- 二十八日 十四時 護摩会
- (一・四・十二月は右記参照)
- 日曜日 六時半 坐禅会

### ハートが行く①

みー子とフワラが亡くなってから、背中白いハートマークの猫がいまです。「ハート」と呼んで

可愛がってください。



### テレホン法話

曹洞宗布教師の「心の法話」が電話で聞けます。  
0120508740

### 案内

お寺のホームページをリニューアルしました。ぜひ、ご覧ください。  
<http://www.byodoji.org>

### 三輪山裏

昨年五月一日に元号が「令和」になりました。世界中で紛争や差別が絶えませんが、聖徳太子様の「和を以て貴しとなす」は1400年経った今も、これから先の未来でも、世界で最も大切な決意です。

孝仁合掌